



## contents

[コラム]

IT 未来人材フォーラム

…森川博之 戸辺義人 楠 正憲

[解説]

ラーニングファシリテータの育成

…加藤正彦

## 基 般 Column

### IT 未来人材フォーラム



中学生や高校生などの世代に対して、IT や ICT 分野に興味を持ってもらいたいという願いから、IT 未来人材フォーラムを 2013 年度から開始した。急に思いついて始めたものではなく、5 年ほど前から有志で議論してきた中から生まれたものである。大学の教育内容や研究開発のあり方などを議論する中で、IT や ICT 分野への興味をより若い世代に対して喚起させることも非常に重要であるとの認識に至ったことがきっかけである。

活動の第一歩が、中高生向けのプログラミングワークショップである。2013 年 8 月には高校生に対して、Ruby 一日体験プログラミングを開催した。学びに対する自発的な欲求を有している高校生と接することで、主催者側も刺激を受けるし、働きかけ次第でプログラミングに適性のある人材を早期に探し出せるのではという感触も得た。

しかし、中高生向けにプログラミングを教えるイベントはほかにもいろいろとある。本誌でも、小中学生を対象としたプログラミングスクール TENTO の紹介があった。したがって、本フォーラムでは、単発的なワークショップや体験学習を提供するというよりも、すでにしっかりと地道に活動されておられる方々との議論の場を設け、興味喚起により重点を置いて進めていきたいと考えている。

また、早いうちに IT 分野に志を立てた若者のキャリアパスはどのようなのか。煽るだけ煽って、輝かしい道が開けていないのだとしたら、無責任でもある。幼少期にトレーニングを積んで才能を開花させることが一般にも見えるアスリート、音楽家、棋士と同様なパスはないのか。こういったキャリアパスの議論も本フォーラムで進めていきたい。

大学情報系学科の将来の姿はどのようなものになるのだろうか。建築学科に見られるように、創造や制作に重点を移しているのだろうか。研究分野として、ヒューマンコンピュータインタラクションやメディアアートなど、創造や制作に重きを置いている分野もすでにある。また、学際的な学部や学科を設立する動きもある。しかし、現在のシステムやアルゴリズム中心の内容から、創造や制作への道はまだ描き切れていない。MOOC (Massive Open Online Course) の動きも視野に入れながら、未来人材を受け入れる物理的実体としての大学の諸問題を考えるきっかけを本フォーラムが作ることができればと考えている。

森川博之 (東京大学) 戸辺義人 (青山学院大学) 楠 正憲 (ヤフー (株))

ロゴデザイン ● 中田 恵 ページデザイン・イラスト ● 久野 未結